

中間評価結果（平成17年度採択研究課題）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	道路機能に基づく道路盛土の経済的な耐震強化・補強技術に関する研究開発	大阪大学大学院 教授 常田 賢一	A

< 研究継続の妥当性評価 >

- ・ 研究体制、目標、現段階での成果、進捗状況はともに良好であり、計画通り研究を継続することが妥当である。

< 参考意見 >

- ・ 従来型の耐震性能評価、耐震強化との相違点を明確にすることが望ましいと思われる。
- ・ 遠心載荷実験、解析手法等の提案されている方法と目標との関係を明確にしていきたい。
- ・ 「経済性」について、従来工法と比較してどの程度を目標とするか明確化が望まれる。
- ・ 本研究において、地震リスクを考慮した耐震強化方法や耐震補強方法を採用の必要性を明確にすることが期待される。
- ・ 道路機能の位置づけや改善される道路機能の具体化など、本研究における「道路機能に基づく」のコンセプトを明確にすることが望ましいと思われる。

評価

- A：当初計画は順調に実施され、現行の努力を継続することによって目標達成が可能と評価される。
- B：当初目標を達成するためには、評価者からの指摘事項に留意し、一層の努力が必要と判断される。
- C：このままでは当初目標を達成することは難しいと思われるので、評価者からの指摘事項に沿って、当初計画の適切な変更が必要と判断される。
- D：現在までの進捗状況に鑑み、今後の努力を待っても当初計画の達成は困難と思われるので、研究を中止することが妥当と判断される。